

# 4.各分会における 流域治水の取組事例

# 滋賀県 事例紹介

構成員 滋賀県 土木交通部 流域政策局

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

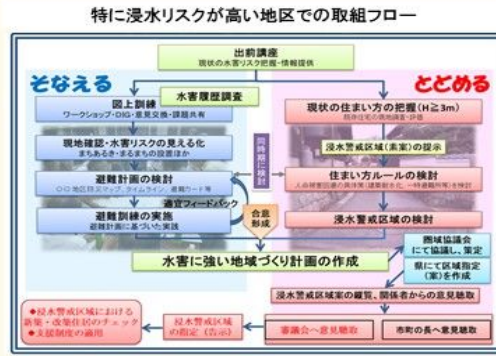
### 事業名：水害・土砂災害に強い地域づくりの取組

滋賀県土木交通部  
流域政策局

- 地域住民や市町など関係行政機関と協働し、住民向けの出前講座や図上訓練の実施、地区の避難体制整備の支援(そなえる対策)、安全な住まい方の検討(とどめる対策)、水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の開催など、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施している。

#### 事業メニューの内容、イメージ

- 住民向けの出前講座や図上訓練などを通じ、浸水リスク、正しい避難行動、安全な住まい方の意識啓発を図る。
- 特に浸水リスクの高い地区において、住民や市町とともに、避難体制の整備(そなえる対策)および浸水警戒区域の指定を含む安全な住まい方の検討(とどめる対策)を実施し、将来にわたって安全な地域を目指す取組を行う。
- 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(大規模はん濫減災協議会)や防災情報ワーキンググループにおいて、関係行政機関と、地域における浸水被害の回避または軽減に関し必要な対策について協議を行う。



#### 事業メニューの実施事例



#### 事業メニューの効果

- 平成26年度から令和3年度の8年間で、441件約2.4万人に出前講座等を実施。
- 特に浸水リスクの高い約50地区において、水害に強い地域づくりの取組に着手。11地区において浸水警戒区域を指定。
- 各圏域の水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(地域安全協議会を含む)で策定した「取組方針」に基づき、各構成員が取組を実施。



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 住民等向けの出前講座を40回以上約2000人に実施。特に浸水リスクの高い地区において、そなえる対策およびとどめる対策を検討する住民ワーキングを64回実施。4圏域での水害・土砂災害に強い地域づくり協議会および瀬田川地域安全協議会を7回、担当者会議やワーキングを13回開催。			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 引き続き、関係住民や市町などと連携し、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 引き続き、関係住民や市町などと連携し、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施。			

被害対象を減少させるための対策

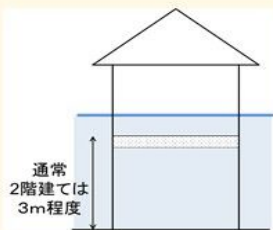
## 事業名：浸水警戒区域の指定

滋賀県土木交通部  
流域政策局

- 将来にわたって安心して住める水害に強い地域とするため、滋賀県流域治水条例第13条に基づき、地先の安全度マップの200年確率降雨時に概ね3m以上の浸水が予想される区域を、浸水警戒区域(=災害危険区域)に指定する。
- 浸水警戒区域の指定にあたっては、地域住民や市町とともに、避難計画の作成や安全な住まい方の検討などを実施したうえで、地域の合意形成を図り「水害に強い地域づくり計画」を作成する。
- 浸水警戒区域の指定後は、区域内で改築および新築する時に、安全な避難空間が確保できているかを県が確認する。

### 事業メニューの内容、イメージ

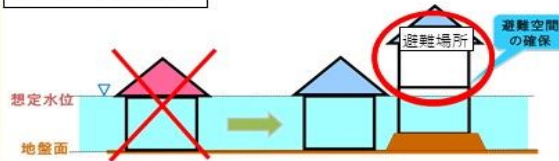
通常、2階の床面は地盤高から約3mであり、3m以上の浸水が予測される区域では、水害時に命を守るため安全な避難空間を確保することが重要。  
浸水警戒区域内では、改築および新築時の建築確認の前に、浸水に対する安全性を知事が確認する。



### 建物での対応



### 避難場所での対応



### 事業メニューの実施事例

平成26年より特に浸水リスクの高い県内の約50地区において、水害に強い地域づくりの取組を順次実施している。  
これまで11地区において、「水害に強い地域づくり計画」を作成し、浸水警戒区域を指定した。(R4.12時点)



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定			
	長浜市余呉町上丹生、下丹生、西浅井町余、甲賀市信楽町牧、江田、神山、米原市醒井の7地区において、3月に指定する予定で流域治水条例の手続き中。 指定した地区においては、安全な住まい方の実現できるよう建築制限を実施している。				
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定			
	重点地区における取組の進捗にあわせ、順次浸水警戒区域を指定する。 指定した地区においては、安全な住まい方の実現できるよう建築制限を実施。				
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定			
	重点地区における取組の進捗にあわせ、順次浸水警戒区域を指定する。 指定した地区においては、安全な住まい方の実現できるよう建築制限を実施。				

構成員 滋賀県土木交通部流域政策局

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 グリーンインフラの取組

**事業名**： 統合河川環境整備事業・総合流域防災事業(河川環境整備)

滋賀県土木交通部  
流域政策局

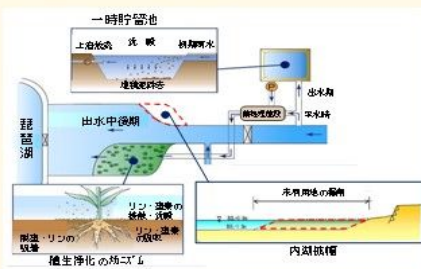
○ 汚濁の著しい河川の水質改善事業、自然環境が著しく阻害されている河川の自然環境の再生事業を行い、良好な河川環境を保全、復元、および創出する。

事業メニューの内容、イメージ

○水質改善(河川浄化)事業

・水質改善対策(覆土・護岸工・植生工等)、流入河川対策(植生浄化、内湖拡幅等)を実施。

【流入河川対策】



○自然環境の再生事業

・湖岸保全のための砂浜侵食対策(突堤工、緩傾斜護岸工、養浜等)等を実施。

事業メニューの効果

・水質改善事業の実施により、琵琶湖への流入汚濁負荷を削減し、健全な水循環系(水環境)の確保に寄与。  
・自然環境の再生事業の実施により、自然環境の保全・復元、景観保全、湖岸利用上の安全確保に寄与。

事業メニューの実施事例

【水質改善対策：植生護岸工】



【流入河川対策：植生浄化池】



【砂浜侵食対策：突堤工】



【砂浜侵食対策：緩傾斜護岸工】



【砂浜侵食対策：養浜】



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業			
		赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:覆土、植生護岸工 マイアミ浜:養浜 湖西圏域:養浜、突堤工、緩傾斜護岸工			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業			
		赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:覆土、植生護岸工 マイアミ浜:養浜 湖西圏域:養浜、突堤工、緩傾斜護岸工			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業			
		赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:覆土、植生護岸工 マイアミ浜:養浜 湖西圏域:養浜、突堤工、緩傾斜護岸工			

構成員 滋賀県 土木交通部 流域政策局

(個票)

グリーンインフラの取組

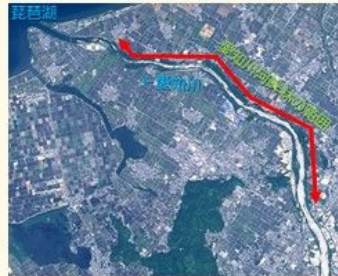
## 事業名：河畔林の適正な維持管理

滋賀県土木交通部  
流域政策局

○ 治水と環境保全の両立を目指した河畔林管理を実施する。

### 事業メニューの内容、イメージ

○ 河畔林とは、河川の周辺に繁茂する森林や竹林のことで、治水・生態系・水質・景観などの保全や創出に大きな役割を担っている。  
 一方で、適正な維持管理がなされない河畔林は、河積の阻害(流水の妨げ)や流木の発生源になる等、治水機能に悪影響を生じさせる原因になっている。  
 ○ そのため、従来は河畔林の伐採を基本とする河川整備が行われてきたが、平成9年の河川法改正以後、その環境機能が見直され、近年では河道計画の基本方針として、河畔林は「洪水に対する安全性、樹木の管理体制、流木対策等を十分に検討した上で、保全することが望ましい」とされている。  
 ○ 県下でも安曇川・愛知川・野洲川等で河畔林が形成されているが、ここでは河畔林の適正な維持管理について、愛知川の事例をとりあげて紹介する。



↑写真  
愛知川河畔林位置図(国土院航空写真)

### 事業メニューの実施事例

○ 地域住民や学識経験者、行政関係代表等が集まり愛知川河畔林の保全を検討する場として発足した協議会の活動を経て、平成17年に「愛知川河畔林の会」が発足。  
 ○ 河畔林の会による定期的な竹林の手入れを実施するとともに、県工事でも維持管理を行っている。  
 ○ また、河畔林の会では、広く一般の方に河畔林に親しんでもらい、河畔林の会の活動について知ってもらうために、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施している。



河畔林の会による整備状況

↑↑写真  
管理されなくなった河畔林

△右上写真  
河畔林の会による整備状況

→右写真  
整備後の河畔林

### 事業メニューの効果

○ 平成25年9月の台風18号による災害では、愛知川でもはん濫危険水位を超える水位上昇があり、複数箇所被災を受けたが、河畔林の会による整備ができていた区間は、周辺の整備ができていなかった区間と比べて被害を免れている傾向が見られた。(適正な維持管理により河畔林の治水効果が発揮された)

○ 散策道を整備して、竹林管理を行っていることで、河辺の親水空間としての機能も向上している。タケノコやカブトムシといった河畔林の自然を求めて、多くの方が河畔林を訪れるようになった。

写真→

河畔林を利用した活動状況(整備活動の体験や河畔林の自然を利用したイベントが実施されている)



↑↑写真  
洪水後も流れなかったチップ(切り出した竹をチップ化したものを利用して、散策道の安定化のためのマルチングを行っている)



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による河畔林の手入れやイベントを実施。県も維持管理工事を発注・施工。			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による手入れやイベントを継続するとともに、県工事でも維持管理を実施していく。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による手入れやイベントを継続するとともに、県工事でも維持管理を実施していく。			

構成員 滋賀県土木交通部流域政策局

(個票)

グリーンインフラの取組

## 事業名：ビオトープ自然観察会

## 大津市・野洲市

○琵琶湖の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために、ビオトープを活用した自然観察会を開催している。  
 \* 大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにごるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。  
 \* 野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催

事業メニューの内容、イメージ

- 木の岡ビオトープは琵琶湖の西岸に位置し、市街地にありながら抽水植物から湿地林まで奥行きのある、多様なエコトーンを含む貴重なビオトープを形成し、希少な動植物を含めた多くの生物を育む自然環境となっている。おにごるみの学校と地元企業、県が定期的な保全活動を実施維持している。
- 家棟川ビオトープは、内湖機能を検証するため琵琶湖河川事務所が設置した人工的なビオトープである。現在は周辺に田園風景が広がりヨシの群生地がある豊かな自然のなか、一級河川の家棟川が琵琶湖へ流れ込む勇壮な景観とともに美しい自然の姿を保持している。
- 豊かな自然を保つ2つのビオトープを活用した自然観察会を通して、広く県民に環境学習を行うことで、自然環境や生物多様性についての理解を促し、琵琶湖に至る貴重な自然環境を未来に残していく。



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- 自然観察会の参加者数は、木の岡ビオトープ延べ1900名、家棟川ビオトープ延べ1200名を超えた。様々な専門分野の講師が、多様な環境学習を季節に応じておこなうことで、参加者は楽しく学ぶことができる。その結果、複数の参加者が、その体験を周囲へ伝え、誘い合い、継続して参加している様子が見受けられる。このことは、参加者がこの活動の目的を深く理解し、自ら自然環境や生命の大切さを伝え広げる実効活動につながっている。
- 木の岡ビオトープ、家棟川ビオトープ共に運営連絡会を設置し自然観察会の運営の他に、定期的な保全活動を実施している。その結果、自然を維持することができ、希少種も含む固有の動植物が多種生息していることが確認されている。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R4年度	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにごるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催。			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R5年度 (予定)	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにごるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催。			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R6年度 (予定)	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにごるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催。			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了

構成員 滋賀県琵琶湖環境部下水道課

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

## 事業名：琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線

滋賀県琵琶湖環境部 下水道課

守山市および栗東市の浸水被害を軽減するため、県が雨水流域下水道を整備する

### ○計画の目的と経緯

- ・事業対象区域は、市街化の進展により数年に一度、浸水被害が発生。
- ・雨水対策施設は公共下水道として市町で整備しているが、複数市にまたがる区域を流域下水道として整備し、早期の浸水防止効果を図る。

平成11年度 流域雨水幹線の整備について、両市長から知事へ要望  
 平成12年度 下水道法事業認可  
 平成14年度 工事着手  
 平成21年度 一部供用開始 約2.6km (守山市勝部地先まで)  
 令和4年度12月時点 供用延長 約4.4km (栗東市宅屋地先まで)

### ○計画概要

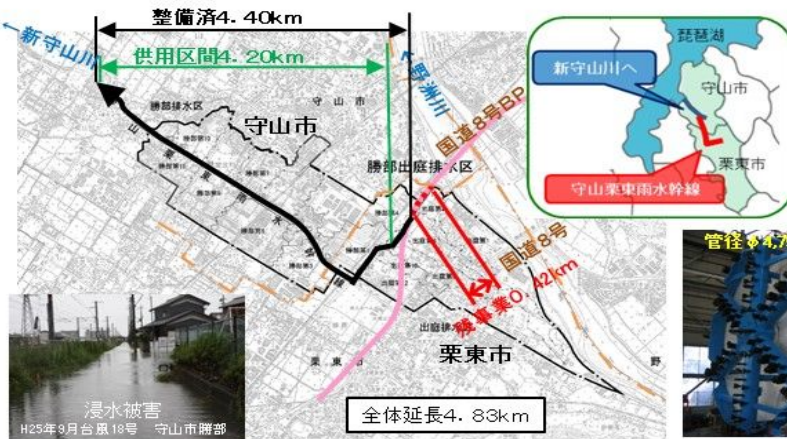
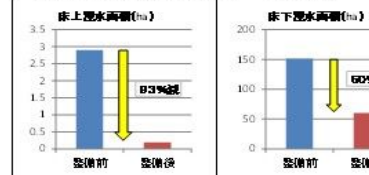
- 【計画降雨強度】 50mm/h(10年確率)
- 【排水区域面積】 487ha(新守山川流域の約60%)  
守山市:246ha、栗東市:241ha
- 【全体事業費】 約120億円
- 【計画断面】 管渠φ4.75m~□2.0m×1.6m

### ○整備効果

#### 浸水被害の削減

50年確率の降雨(時間86mm)に対する整備効果

床上浸水面積 約3ha → 93%減  
 床下浸水面積 約150ha → 60%減



### ○令和4年度の予定

- ・最終工区(出庭4工区)施工完了。(令和5年2月)

年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線			
	出庭4工区管渠工事完了(R5年2月) 流域幹線施工完了				
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線			
	全線供用予定				
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線			
	全線供用予定				



構成員 滋賀県(森林保全課)

(個票)

事業名：森林整備事業

滋賀県  
(森林保全課)

- 森林整備事業は、森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ、計画的に間伐や主伐後の再造林等を進めています。
- 森林整備を進めることで、森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を発揮させ流域治水に寄与しています。

森林は、木材の生産などの物質生産機能をはじめ、生態系保全や生物種の保全としての生物多様性保全の機能、地球温暖化の緩和、地球気候システムの安定化などの地球環境保全機能等の多面的な機能を有しています。森林の多面的な機能の中には、水源かん養機能や土砂災害防止機能も含まれており流域治水に寄与しています。

○森林の水源かん養機能

森林に降った雨は、一部は蒸発し、多くはいったん地中に浸み込んで地下水となり、時間をかけて下流の河川に流出します。このような水循環の仕組みによって、洪水の緩和、渇水の緩和や水質の浄化といった水源かん養機能を発揮しています。



○土砂災害防止機能

森林の下層植生や落枝落葉が地表の浸食を抑制するとともに、森林の樹木が根を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防いでいます。



県では、このような森林の多面的機能を維持するために、除伐、間伐といった森林の整備に補助造林事業、農地漁場水源確保森林整備事業、環境林整備事業により支援を行っています。

年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施 補助造林事業、農地漁場水源確保事業、環境林整備事業などにより、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施。			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施 補助造林事業、農地漁場水源確保事業、環境林整備事業などにより、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施予定。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施 R6年度以降、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施。			

# 大津市 事例紹介

構成員 大津市

(個票)

事業名：雨水渠整備事業	大津市
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雨水渠の整備により浸水被害を軽減</li> <li>○ 対応降雨を10年確率(時間雨量約50mm)</li> <li>○ 重要度・緊急度の高い区域から整備を実施</li> </ul>	
<p>事業メニューの内容、イメージ</p> <p>近年、各地で大雨による浸水被害が発生 ⇒市街地の浸水を防ぐため雨水渠を整備</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  </div> </div>	<p>事業メニューの実施事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・推進工法による雨水渠整備状況(おまる池川) (合成鋼管 φ1650)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・オープンカット工法による雨水渠整備状況(黒津排水路) (ボックスカルバート 口1500)</p>
<p>事業メニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水機能向上による浸水被害の軽減</li> <li>・10年確率の雨量に対応</li> <li>・整備計画43河川のうち25河川の整備が完了 (令和2年3月現在)</li> </ul>	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R3年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備			
	R2年度より引き続き、殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を実施。				
R4年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備			
	R3年度より引き続き、殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を実施予定。				
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備			
	R4年度より引き続き、殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を実施予定。				



土砂堆積状況



土砂撤去後

# 長浜市 事例紹介

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**事業名：木之本第1雨水幹線整備事業（赤川第四排水区）**

**長浜市**

- 公共下水道(雨水)の整備により浸水被害を防止する。
- 10年確率(時間雨量50mm)の雨に対応した雨水幹線整備

事業メニューの内容、イメージ



事業の内容

JR木ノ本駅周辺では、近年の異常気象による浸水被害が発生している。雨水貯留施設建設や雨水幹線整備を行い、浸水被害の軽減対策を図る。

事業の効果

雨水貯留施設や雨水幹線を整備することにより、10年確率の雨量に対応可能となり、浸水被害が軽減する。

事業メニューの実施事例



赤川第1貯留施設整備イメージ



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区)			
	雨水幹線整備	L=460m 完成			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区)			
	雨水幹線整備	L=460m 完成			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区)			
	雨水幹線整備	L=460m 完成			

構成員 長浜市

(個票)

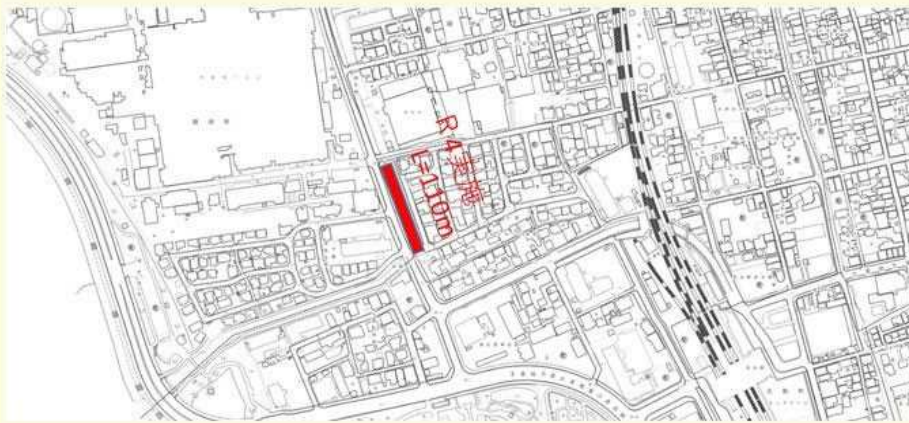
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

## 事業名：単独河川改良事業

長浜市

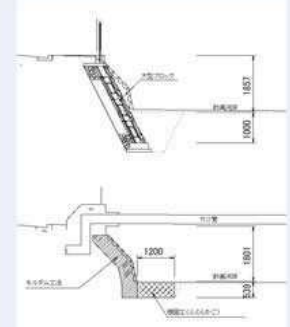
- 準用河川大三六堀において、現状の石積み護岸崩壊の危険性が高いため護岸改修をおこなう。
- 河川改修事業により護岸崩壊による浸水被害を防止する。
- 10年確率(時間雨量50mm)の雨に対応した河川整備

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

整備前



事業メニューの効果

準用河川大三六堀において、現状の石積み護岸(左岸)にはらみや空洞化が生じており、河川の増水時等において護岸崩壊等による浸水被害の危険性が高いことから、大型ブロック積み及び一部モルダム工法による護岸改修を実施し浸水被害を未然に防ぐ。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改良事業(大三六堀護岸改修工事)			
	護岸改修工事	L=110m			
	大型ブロック積	A=232m <sup>2</sup>			
	石積み修繕工(モルダム工法)	A=40m <sup>2</sup>			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 長浜市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## 事業名：総合防災マップの作製

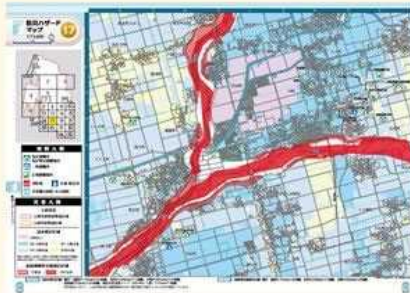
長浜市

- 地震や水害、土砂災害についての危険度や、避難所等を地図にしたハザードマップと、災害時に必要となる情報を取りまとめた「長浜市総合防災マップ2021年版」を発行
- 令和3年5月 市内全世帯へ配布（約42,000世帯）

### 事業メニューの内容、イメージ

下記の災害を想定し、災害時の情報、指定避難所一覧等を掲載した防災マップを配布。

- ・地震
- ・風水害
- ・土砂災害
- ・原子力災害



### 事業メニューの実施事例

災害に強いまちづくりをめざし、「長浜市総合防災マップ」を発行。



長浜市防災ハザードマップ(WEB版)  
パソコン、スマートフォン等で閲覧可  
<http://www.city.nagahama.lg.jp/section/saigaibousaimap/>

### 事業メニューの効果

- ・住民が“いざ”という時の行動を、普段から考えるきっかけとなる。
- ・想定した水害規模に対する住民の対応力が向上する。
- ・地域の防災力の向上が図れる。



年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの作製			
	令和3年5月	市内全世帯に配布(42,000世帯)			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの作製			
	令和3年5月	市内全世帯に配布(42,000世帯)			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの作製			
	令和3年5月	市内全世帯に配布(42,000世帯)			



構成員 **長浜市**

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

**事業名** : ドローンを活用した災害支援活動等「災害連携協定」の締結

**長浜市**

○被災状況を上空から撮影し、画像・動画等の提供を受ける。

事業メニューの内容、イメージ

●一般社団法人ドローン防災・産業協会と災害時における協定の締結

協定相手: 一般社団法人ドローン防災・産業協会

締結日 : 令和3年12月1日

協定概要: 『災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定』

長浜市内に災害が発生し、災害現場へ直接確認に立ち入ることが危険な場合等において、市の要請に基づき災害現場の空撮および撮影した映像の処理を行い、市に提供する。

事業メニューの効果

- ・事前に空撮を行っておくと、災害前後の状況を容易に比較することができる。
- ・早期復旧・復興に向けた災害査定資料の作成作業が軽減できる。
- ・全天候型ドローンや上空から水中や陸上をレーザーで測量するドローンにより、降雨・強風時でも飛行し、情報収集が可能となる。

事業メニューの実施事例

【撮影データ】



<引き>



<拡大>



<写真測量>

年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」の締結 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。 締結日: 令和3年12月1日			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」による活動 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」による活動 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。			

# 野洲市 事例紹介

構成員 野洲市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：童子川第4排水区雨水幹線整備事業

野洲市

○事業の目的

- ① 新市街化区域の雨水排水対策（野洲駅北口）
- ② 浸水被害の軽減対策（野洲駅南口）

事業メニューの内容・効果



大雨による河川の増水が予想される場合、水門操作で雨水幹線へ放流。平常時は祇王井川への流れを維持し、駅前河川の生態系を保護。

○事業の内容  
駅前北口周辺の新市街化区域（市三宅・行畑・野洲地区）の雨水に係る排水対策及び、駅前南口周辺の浸水被害に係る軽減対策

○治水の効果  
妓王井川流域の一部（15.3ha）を童子川流域に編入することにより、駅前南口を流れる一級河川妓王井川に流入する雨水を減少させることができる

事業メニューの実施事例

着工前状況 鉄筋コンクリート製アーチ橋梁（幅3,000mm×深さ1,000mm）



着工後状況 鉄筋コンクリート製耐震U型水路（幅4,500mm×深さ1,400mm）







平成24年度から浸水対策の雨水事業として着手  
平成29年度までに京セラ・オムロン付近を改修（約1400mを整備済）

年度	進捗状況				
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ポンプ施設基本設計業務委託、JR近接施工に係るFEM解析作業 JR琵琶湖線の近接工事に伴う地盤や構造物に対する解析調査や、雨水貯留するためのポンプ施設（位置、構造、能力等）について、基本設計業務を実施中。			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事業計画変更業務委託 妓王井川排水区の内15.3haを童子川排水区へ流域変更するため、JR横断以南の36.49haを追加する事業計画の変更を実施予定。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	JR沿線道の雨水幹線管渠実施設計業務委託、ポンプ施設実施設計業務委託 新たなルートに係る市道木ノ座ナガレ1号線（万葉台JR沿線道の雨水幹線管渠及び雨水ポンプ施設）の実実施設計を行う予定。			

構成員 野洲市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

<b>事業名：河川カメラによる中小河川の状況把握</b>	<b>野洲市</b>
<p>【設置箇所】 地元の協力のもと、①野洲駅前(姪王井川量水標) ②小篠原(普通河川岸田川)の2箇所に設置</p> <p>【本事業の特徴】 既設電柱を利用するため建柱が不要となり安価(15万円/年)に状況を確認することができる。</p> <p>【期待される効果】 目視を必要とせず、安全かつリアルタイムに正確な状況を把握することができる。</p>	
<p>【事業の実施内容】 既設の電柱にカメラを添架。サーバーにスマートフォン等でアクセスし、パスワードを入力後視聴可能(30秒更新) 2週間分の録画を実施。</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center; color: red;">設置されているカメラ (電柱添加型)</p> </div> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center; color: red;">No. 1 野洲駅前(姪王井川量水標)</p> </div> </div>	<p>【事業の効果】 令和元年5月7日の降雨において、姪王井川量水標を定点観測。降雨量に伴う水位上昇をリアルタイムで確認した。</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center; color: red;">5月7日 14時35分 -100cm 26mm/h</p> </div> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center; color: red;">5月7日 15時15分 -62cm</p> </div> </div>

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R4年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川カメラによる中小河川の状況把握・市内普通河川樋門箇所に新規設置 ○一級河川日野川に合流する普通河川穴田川に設置されている逆水防止を目的とした樋門付近に、樋門操作のタイミングを安全に確認することを目的として河川カメラを追加設置した。			
R5年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川カメラによる中小河川の状況把握・アンダーパス及び普通河川に新規設置 ○ゲリラ豪雨と呼ばれる予測が困難な局地的集中豪雨や、台風などの大雨による道路の冠水発生時に、アンダーパスへの車両の侵入を抑制することを目的として河川カメラを追加設置する。			
R6年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川カメラによる中小河川の状況把握 ○引き続き河川カメラによる状況把握を行うとともに、新規設置箇所について検討を行う。			

# 木津川市 事例紹介

## 小川内水排水対策事業の推進(ポンプ場等の排水機能整備)

既存の排水ポンプ施設を増設して毎分440m<sup>3</sup>の排水機能を有する施設整備を推進しています。

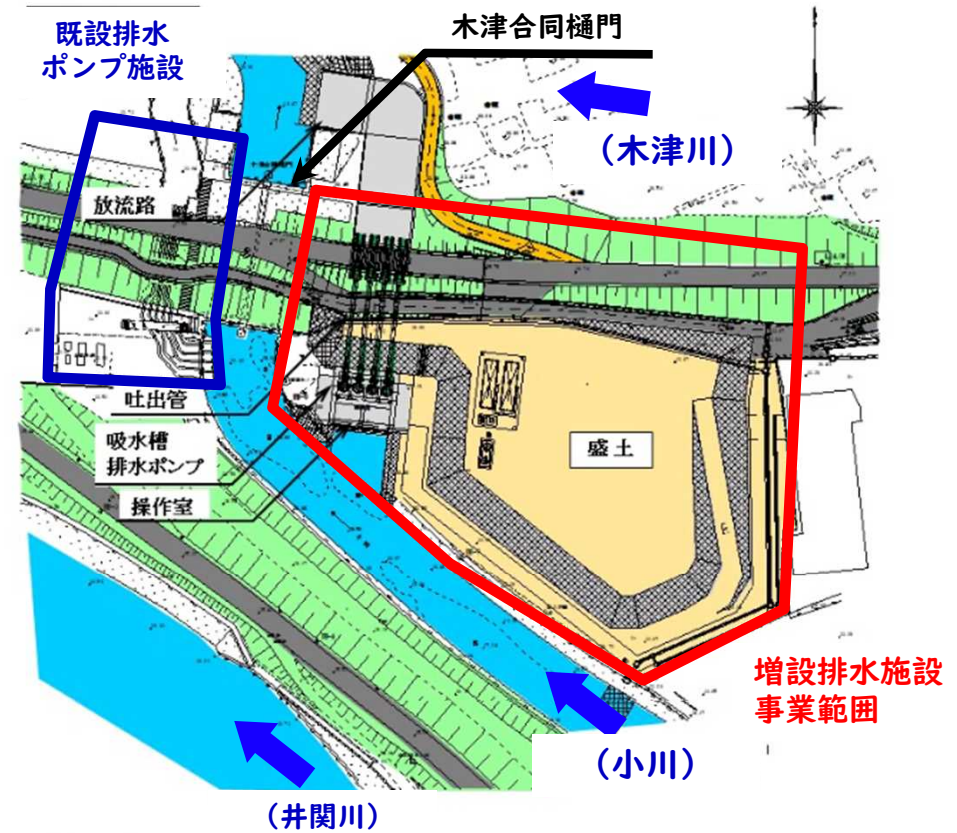
令和3年度:増設排水施設の詳細設計完了  
事業用地の確保完了

令和4年度:第1次盛土、吸水槽築造工事着手  
排水ポンプ施設製作着手

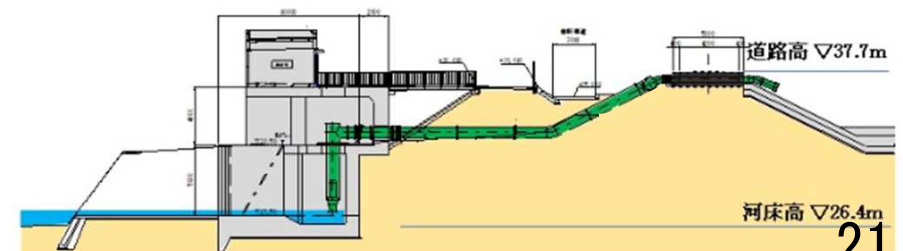
令和6年度:供用開始予定



施設概要図



横断図



## 地区タイムラインの策定

土砂災害警戒区域又は想定浸水深が3m以上の区域を有する地域を対象に、京都府全域で地区タイムライン策定の取組みが進められています。  
木津川市では、令和4年度までに13の地域で策定を完了しています。

危険地区数 (作成対象地区)	R2 (完了)	R3 (完了)	R4 (完了)	R5以降 (予定)
29	1	6	6	16



下川原地域での検討の様子

### 台風や大雨がきたらどうするの？

災害から、身を守るために、「いつ」「どこへ」「どのように」を示した避難行動指針「タイムライン」  
避難を考えるタイミングの手がかりとして、活用してください。  
木津川市下川原地域タイムライン(作成年月:令和4年12月作成)

**気象状況**  
緑陰からの雨 → 大雨の可能性が高くなる → 雨が降り始める → 雨が強くなる → 大雨となる → 大雨が激しくなる → 数十年に一度の大嵐になる

**気象情報** (注1)  
平常時 → 大雨注意報 → 大雨警報 → 特別警報

**避難情報** (注2)  
自宅待機 → 警戒レベル3 高齢者等避難 → 警戒レベル4 避難指示 → 警戒レベル5 緊急安全確保

**私たち(住民)の動き**  
避難の呼びかけ準備 → 高齢者等避難の支援 → 山田川の想定区域内は → 河岸浸食 全員避難

**自主避難場所**  
安全な観せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上  
【一時集合場所】  
集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地  
【市が開設する避難所】  
相楽小学校 (木津中学校)

**【車】で避難できる場所**  
相楽小学校 (木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

**ただちに命を守る行動をとります！**  
【セカンドベスト】  
自宅2階以上 (注4)

**避難の目安(スイッチ)**  
大雨警報(洪水)の発令、二ツ樋樋門の閉鎖、井関川伏越樋門の排水ポンプが起動 → 避難開始! → 避難開始!

木津川・山田川の危険度分布：赤色、南後背南部の用水路が溢れる、南後背川・円度川の増水(溢れそう)  
木津川・山田川の危険度分布：紫色、南後背川・円度川の溢水 (注5)

**【スイッチ1】** 木津川・山田川の危険度分布：赤色、南後背南部の用水路が溢れる、南後背川・円度川の増水(溢れそう)

**【スイッチ2】** 木津川・山田川の危険度分布：紫色、南後背川・円度川の溢水

【木津川市】洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [詳細版]  
URL: <https://stream.kkr.pf.it.go.jp/public/yodogawa/bosai/citymenu/26214.html>

【検索ワード】気象庁 キキル(危険度分布)  
URL: <http://www.jma.go.jp/jma/>

【検索ワード】木津川市防災情報サイト  
URL: <http://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6.50367.12.93.html>

【検索ワード】木津川市防災情報メールの登録メール送信先:  
bousai.kizugawa-city@raidan.ktaiwork.jp

**Q.どこへ避難すればいいの？**

自主避難場所	安全な観せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上
一時集合場所	集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地
市が開設する避難所	相楽小学校(木津中学校) ※相楽小学校が仮倉庫工事終了までは、木津中学校を当初の避難所としています。
車で避難できる場所	相楽小学校(木津中学校)、プラント・パロー駐車場
次善の避難場所(セカンドベスト)	自宅2階以上 (注)

(注) 次善の避難場所(セカンドベスト)とは、市が開設する避難所までたどり着けない時に備えて、あらかじめ決めておく比較的安全と思われる場所のことをいいます。

木津川市下川原地域タイムライン



# 京都市 事例紹介



# 七瀬川遊水地整備事業（京都市）

一級河川七瀬川は、全川にわたり治水安全度が低く、改修困難な狭小区間もあるため、これまで大雨等による浸水被害が何度も発生している。

## 【七瀬川概要】

流路延長：3,327m

流域面積：7.0km<sup>2</sup>

事業開始：平成4年度

（遊水地は令和元年度工事着手）



# 七瀬川遊水地整備事業（京都市）

京都市では、下流に流れる水の量を減らし、浸水被害を軽減するため、都市基盤河川事業として、狭小区間の上流部に遊水地を整備する工事を令和元年度から実施しており、令和5年3月に完成した。

## 【遊水地整備概要】

設置年月：令和5年3月

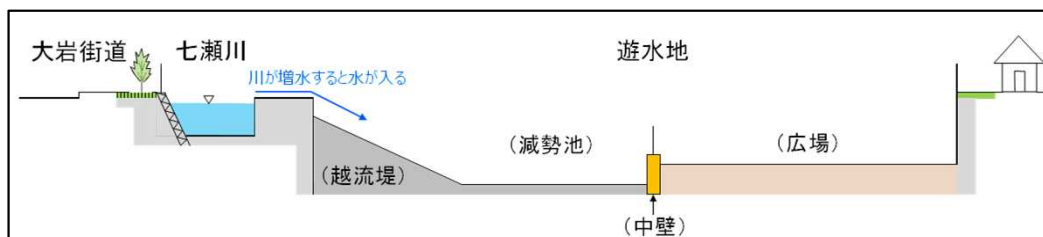
面積：3,080㎡（うち、広場1,520㎡）

貯水量：11,000㎡

整備箇所：京都市伏見区深草大亀谷久宝寺町他

遊水機能：大雨で増水した河川の水を越流堤から遊水地に引き込み、一時的に貯留し、水位が下がった後にポンプで排水する

広場整備：水がない平常時は市民の憩いの場として利用できるよう広場を整備



断面イメージ



七瀬川遊水地

# 大阪府 事例紹介

# 大阪府河川防災情報のリニューアル

**取組内容** 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

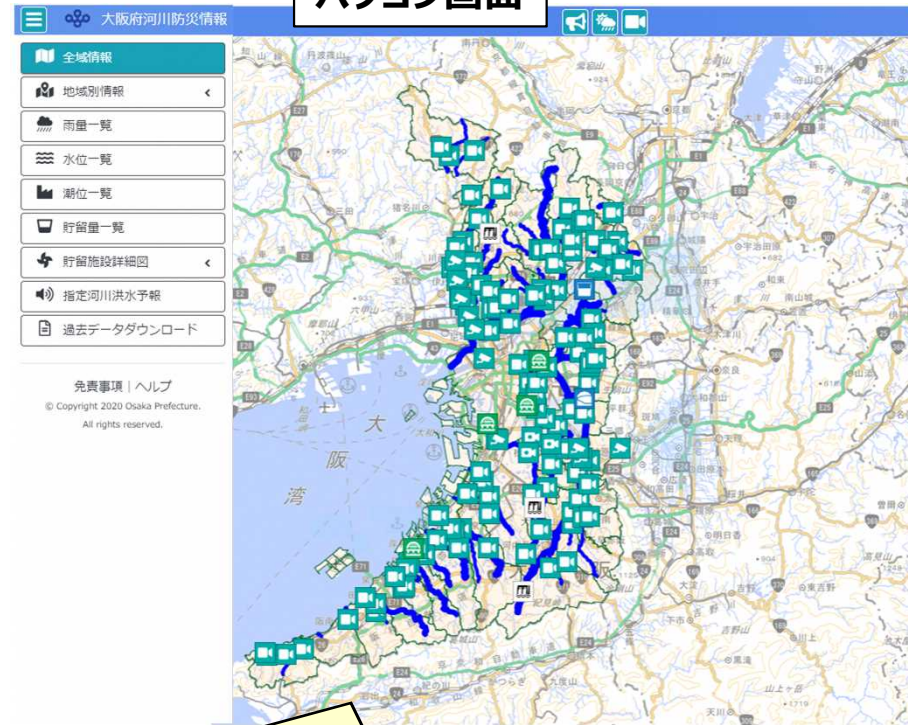
大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。(英語対応)

👉 <https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



## 令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル

パソコン画面



スマホ画面



水位情報閲覧画面

観測時刻	水位情報	
	戎搭 基準 m	万倉橋 基準 m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難判断水位	3.85	3.10
氾濫注意水位	3.75	3.00
水防回待機水位	2.50	1.50
最大値	[18:37] 4.45	[18:26] 5.25
最小値	[04:30] 1.23	[16:54] 0.20
既往最大	4.24	5.01
09/02 18:24	3.94	4.99
09/02 18:23	3.95	4.91
09/02 18:22	3.90	4.82
09/02 18:21	3.79	4.70
09/02 18:20	3.77	4.59
09/02 18:19	3.70	4.47
09/02 18:18	3.65	4.37
09/02 18:17	3.60	4.25
09/02 18:16	3.57	4.15
09/02 18:15	3.54	4.04
09/02 18:14	3.52	3.92
09/02 18:13	3.48	3.79
09/02 18:12	3.44	3.68
09/02 18:11	3.39	3.59

10分間で約1mも水位上昇

### 新ホームページの改良点① ～閲覧可能情報の追加～

これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設(ダム等)状況に加え、新たに**洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報**  
**降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報**  
が同一画面上で閲覧可能に!

### 新ホームページの改良点② ～スマートフォンに対応～

スマホ専用画面を新たに作成  
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、開設された避難所の位置**が一目で分かる!

### 新ホームページの改良点③ ～リアルタイム化～

水位情報の提供を**10分⇒1分**間隔に短縮  
リアルタイムで水位が確認できる!

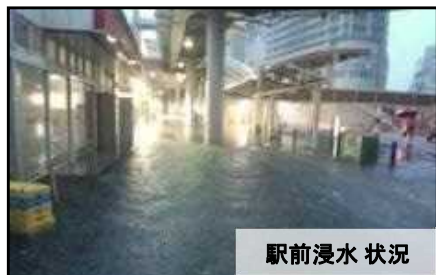
# 高槻市 事例紹介

## □JR高槻駅北駅前広場 雨水貯留施設整備

(令和5年3月完成)

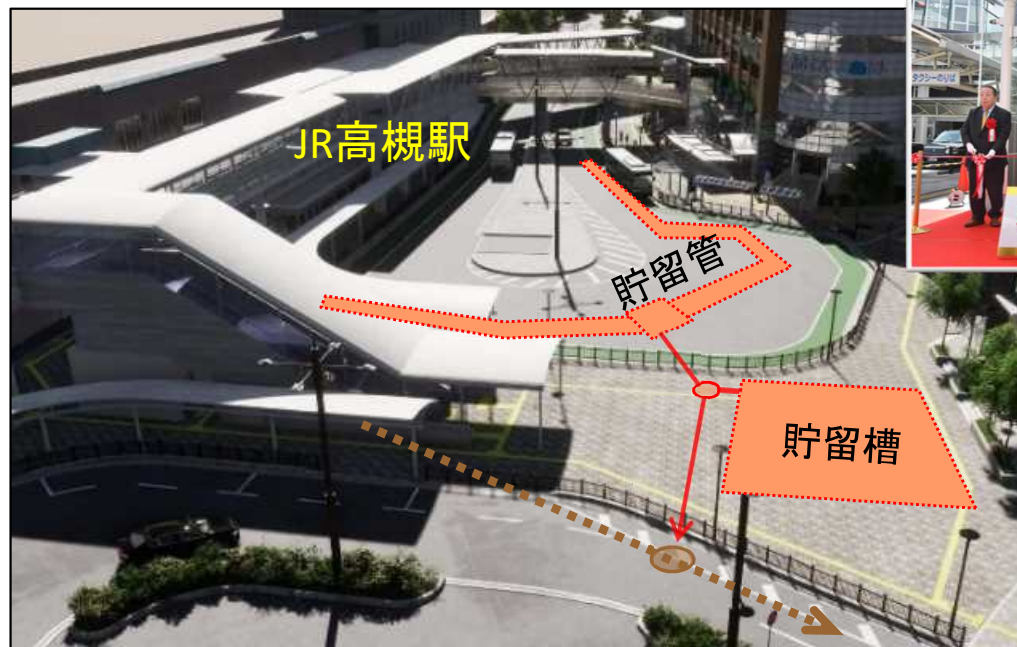


平成24年8月豪雨 (本市既往最大降雨)



〔浸水被害発生状況〕

発生日時 平成24年8月14日  
時間最大雨量 110mm/hr  
総雨量 216mm  
床上/床下浸水 247戸/597戸



## □雨水流出抑制施設の整備

令和4年度末整備完了 (小中学校) 7校

…小中学校の校庭を活用した流出抑制施設 (平成29年度～)



降雨開始直後



降雨終了時

整備実績

整備年度	整備数
平成29年度	1校
令和元年度	2校
令和2年度	1校
令和3年度	1校
令和4年度	2校

## □森林整備・保全 ≪森林災害復旧事業≫

平成30年台風21号による風倒木被害613ヘクタールのうち、  
集落・道路・河川付近の優先度の高い森林約**123ヘクタール**  
を復旧（平成30年度～令和4年度）

事業主体：大阪府森林組合



ドローンによる資材運搬



高性能林業機械を用いた倒木処理



植生基盤工

## □市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

特別警報級の台風接近に伴う大規模風水害・土砂災害を訓練想定とし、タイムライン（避難行動計画）に沿って、自助・共助・公助の各分野において訓練を実施

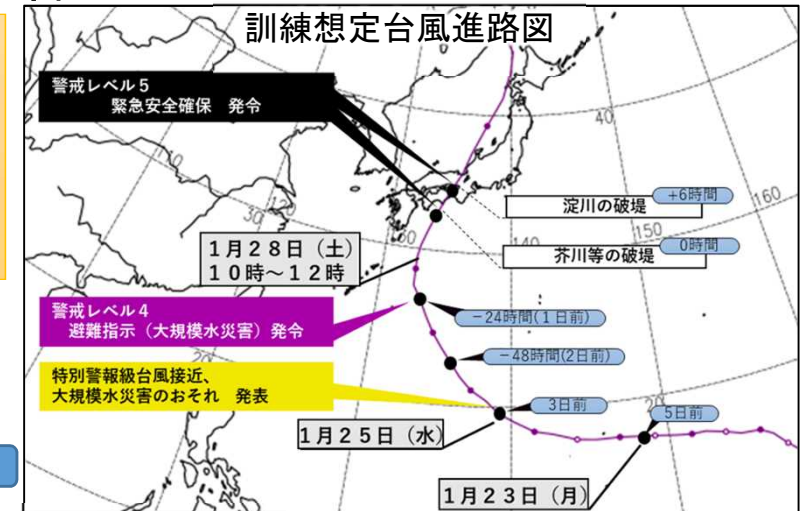
主催 高槻市、高槻市コミュニティ市民会議

訓練期間 令和5年1月23日（月）～29日（日）

○1/23(月)～27日(金)防災情報取得訓練

○1/28(土)市民避難訓練(40か所)、市営バス避難者輸送訓練、災害対策本部図上訓練、情報収集伝達訓練、水防訓練、救援物資配送訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練等

参加者 約5,700人



市民避難訓練



市営バス避難輸送訓練



情報収集伝達訓練



災害対策本部図上訓練

○1/29日(日)総合防災訓練フェス(安満遺跡公園) 総合救助訓練、特殊車両展示・体験、ハザードマップ出前講座、パネル展示、防災資機材展示・体験、防災クイズラリー、自衛隊カレー試食等

参加者 約26,000人



総合救助訓練



特殊車両展示・体験



ハザードマップ講座



パネル展示



## □市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

○3/19(日)高槻市防災シンポジウム

参加者 約1,300人

高槻城公園芸術文化劇場

大防災訓練の締めくくりとして、災害は必ず起こり得るとの意識をさらに高める必要がある。  
平成30年の大阪府北部地震や台風第21号からまもなく5年を迎えようとしていることから、「忘れない、伝える、考える」をテーマに、今後起こり得る災害へ備える。

＜令和5年3月18日オープン＞

キリシタン大名として有名な高山右近が城主を務めた高槻城二の丸跡地に、かつての高槻城を思わせる堀や塀を再現。外壁には格子戸をイメージした縦格子の木材を使用し、歴史的な遺構を現代的にデザイン



### 市制施行80周年記念事業 高槻市 防災シンポジウム

東日本大震災をはじめ、被災地として度重なる災害対応を経験するとともに、他の被災自治体を積極的に支援する立谷秀清氏（福島県相馬市長・全国市長会会長）をお招きしての基調講演と、特別対談では「自治体間における水平連携の重要性」をテーマに、立谷市長と高槻市長（中核市市長会会長）が本音で語り合います。

#### 【第1部】市民防災協議会発足式 (13:30~13:55)

【市民防災協議会】自助・共助力の更なる向上を目指し、各地区の防災活動のサポートやその活動を担う人材育成等を市と協働で推進する組織

#### 【第2部】基調講演 (14:00~15:00)

テーマ：「災害対応は義理と人情」  
講師：立谷 秀清 相馬市長

無料（要申込）  
申込方法は裏面

#### 【第3部】特別対談 (15:15~16:00)

テーマ：「自治体間における水平連携の重要性」



福島県相馬市長 立谷 秀清氏



高槻市長 濱田 剛史

立谷 秀清 相馬市長 (全国市長会会長)  
濱田 剛史 高槻市長 (中核市市長会会長)



令和5年  
3月19日(日)

13:30~16:00 (開場 12:30)

会場：高槻城公園芸術文化劇場 南館（トリシマホール）

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。（駐車場利用不可）

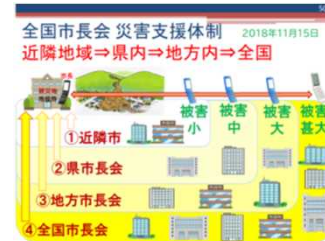
共催：高槻市、高槻市コミュニティ市民会議

### 【第1部】市民防災協議会発足式



### 【第2部】基調講演（立谷秀清 相馬市長）

＜タイトル：災害対応は義理と人情＞



### 【第3部】特別対談（立谷市長・濱田市長）

＜テーマ：自治体における水平連携の重要性＞



### ＜市民防災協議会＞

更なる地域防災力の向上を図ることを目的とした市民団体で、市との協働により、各種防災施策や人材育成手法の検討など、各地区の防災活動を支援することで、市民防災組織を核に各種機関・団体と連携した防災活動を推進する



シンポジウム参加者状況

# 枚方市 事例紹介

# 淀川水系流域治水プロジェクト 事例紹介 枚方市 下水道浸水被害軽減総合事業

## 背景

楠葉地区では、大雨により過去から度重なる家屋への浸水や道路冠水が発生しています。平成24年には観測史上最大の降雨量を記録し、甚大な浸水被害が発生しました。これらの浸水被害を軽減するため、平成29年度から雨水貯留管などの整備を進めています。

## 効果

雨水貯留管や流入管が完成すると、溢れた雨水を一時的に最大約2万<sup>m</sup>（25mプール約56杯分）貯留することが可能となり、浸水被害の軽減が見込めます。一時的に貯留された雨水は雨が止んだ後、排水先の川の水位を確認しポンプで排水することで、次の大雨に備えることが可能となります。

The diagram shows the project location in Mifugasaki City, near the intersection of the main road and the road to Nankyo Central Park. It includes photos of the pipe installation, the interior of the storage pipe, and the tunneling machine used for installation.

**（流入管）**  
道路上に溢れた雨水を集水し貯留管へ導くための施設。

**（雨水貯留管）**  
道路の下約20mの地下に、直径約5m、延長約1kmの規模で道路上に溢れた雨水を一時的にためることができる施設。

## 広報活動

### PR動画の作成

枚方市シティイメージの一環として、1分間の浸水被害対策PR動画を作成



『枚方市 上下水道部 動画』で検索

工事中の「楠葉雨水貯留管」および完成した「サダ雨水貯留管」の内部を360°カメラで撮影



『枚方市 雨水貯留管』で検索

【3D-360°】楠葉雨水貯留管 | 大阪府枚方市 上下水道局

### 現場見学会の実施

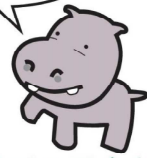
近隣小学校4校を対象とした現場見学会を開催



# 貯留管 Q & A

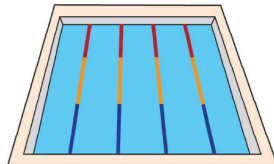
Q

貯留管には  
どのくらいの雨水を  
貯められるの？



A

約20,000m<sup>3</sup>の雨水が  
貯められます。  
25mプールに換算する  
と約56杯分の水がため  
られるよ。



※25mプールを横幅 12m深さ  
1.2mとして計算した場合

Q

貯めた水は  
どこに排水されるの？



A

晴天時に楠葉中央公園に  
設置されるポンプで天満  
川に排水されます。  
また、排水は川の水位の  
安全が確保されてから排  
水されるよ。



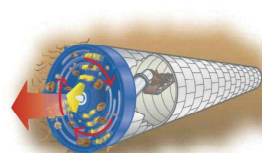
Q

どうやって貯留管は  
作られるの？



A

工事は地上への影響が  
少ない地中を機械で掘  
削するシールド工事で  
建設されるよ。



※浸水対策の取り組みについては、枚方市のホームページからご覧になれます。  
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/sinnsuitaisaku.html>

お問い合わせは

枚方市 上下水道局 上下水道部

郵便番号：〒573-1030

住 所：枚方市中宮北町 20-3

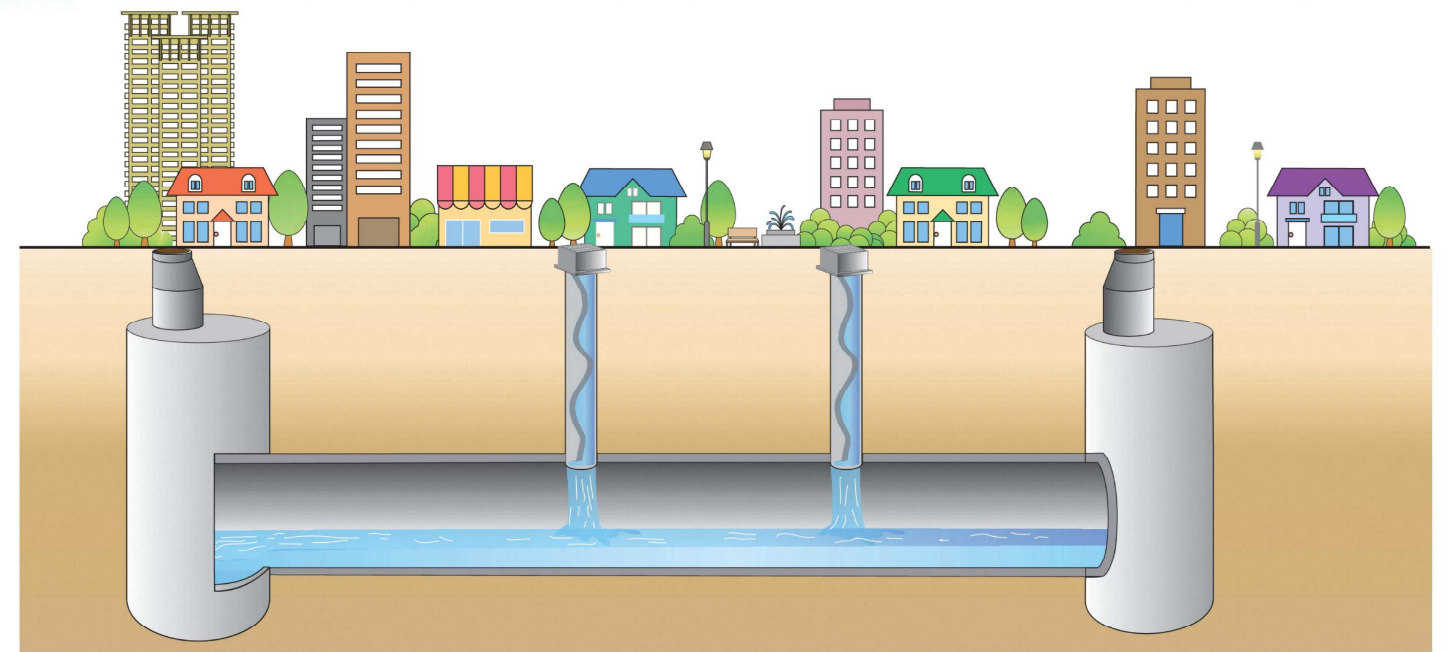
電話番号：072-848-4199 (代表)

枚方市上下水道局ホームページ

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/>

# 大雨からまちを守ります

## 下水道浸水被害軽減総合計画 (楠葉排水区)

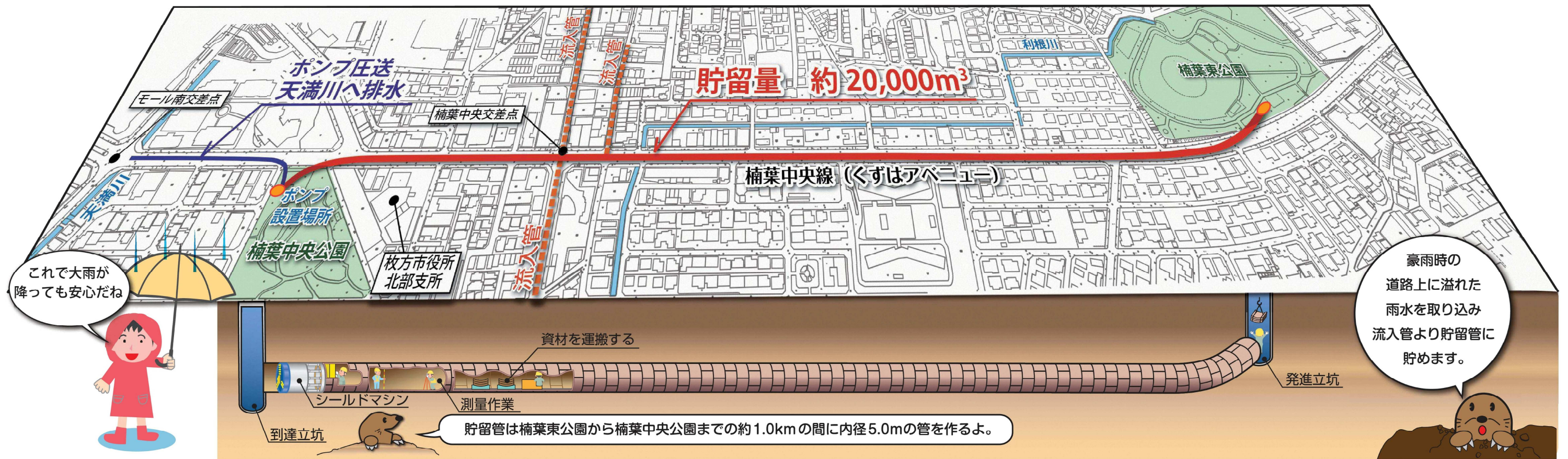


雨水を貯めてまちを  
浸水から守る計画だよ



枚方市 上下水道局 上下水道部

## 事業計画のイメージ



## 事業計画の背景

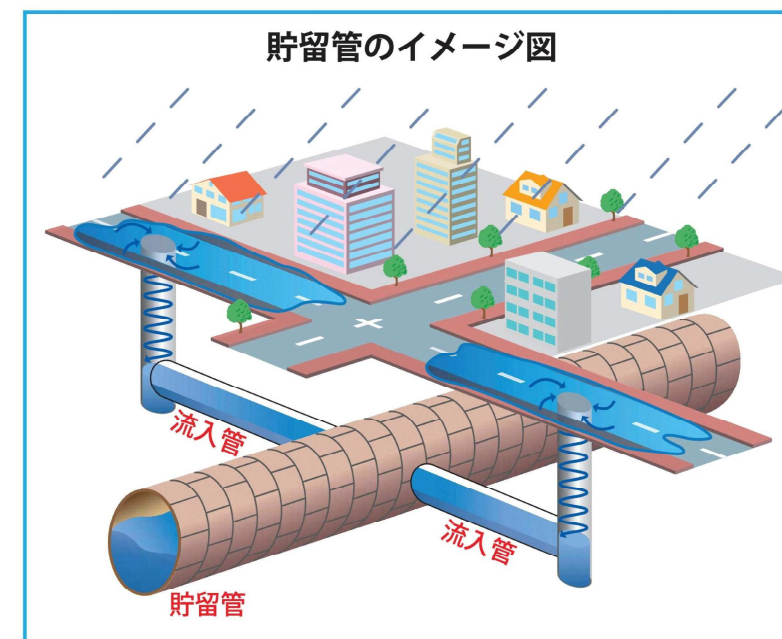
平成24年8月14日、枚方市時間最大雨量となる108.5mmの集中豪雨を記録し、楠葉地区においても時間最大雨量90.0mm(楠葉消防出張所)の集中豪雨を受け、家屋の浸水や道路冠水の被害が多数発生しました。

楠葉地区では過去にも度重なる浸水被害が発生し、このような背景から、上下水道局では浸水被害を軽減するために「下水道浸水被害軽減総合計画(楠葉排水区)」を策定しました。

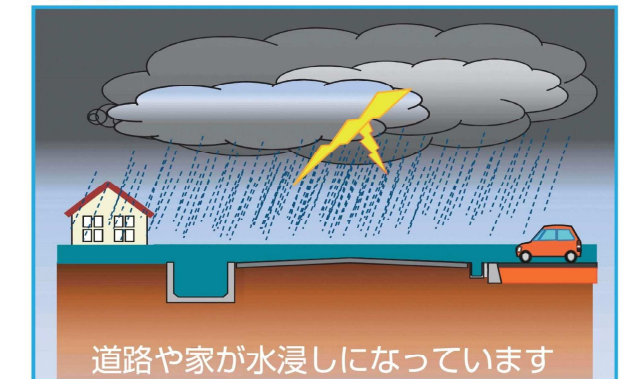


## 事業の効果

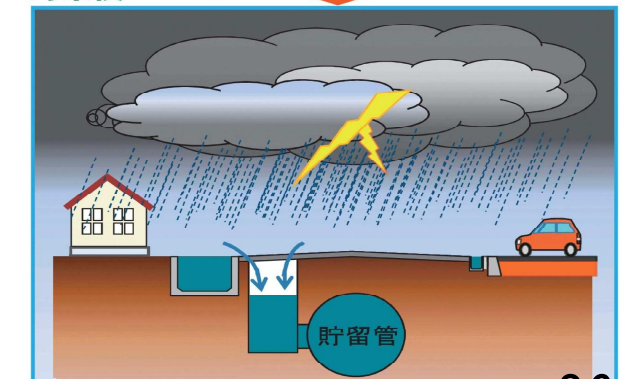
近年の局地的豪雨に対しては、雨水を一時的に貯留管などに貯めて雨がやんでから排水する雨水貯留施設の整備を行い、床上浸水や床下浸水などの浸水被害の軽減を図ります。



### 対策前



### 対策後



# 三重県 事例紹介

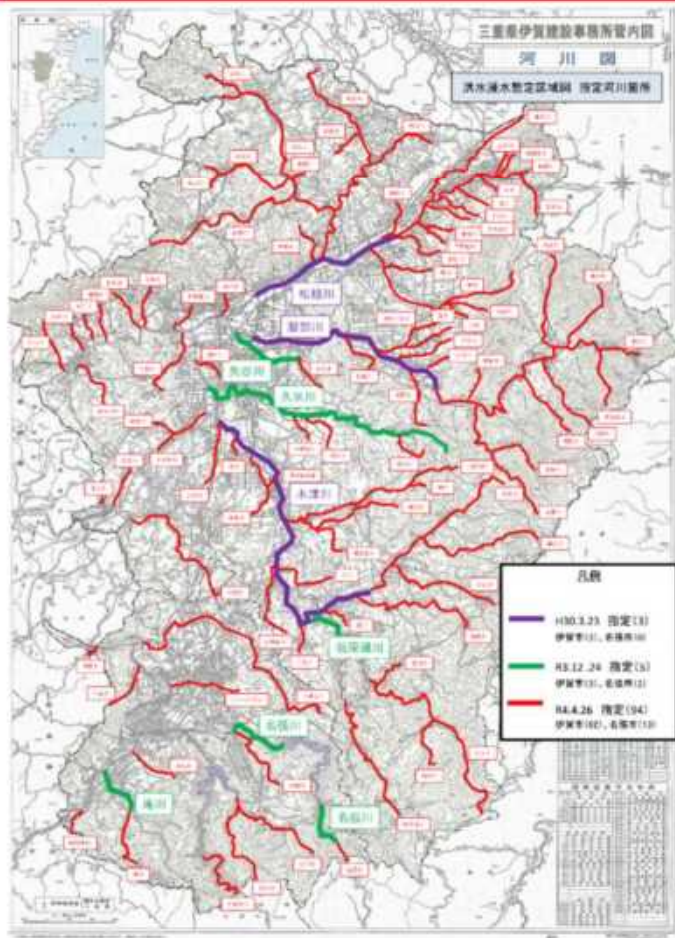
○想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表(水害リスク情報の空白域の解消)

課題対応 A

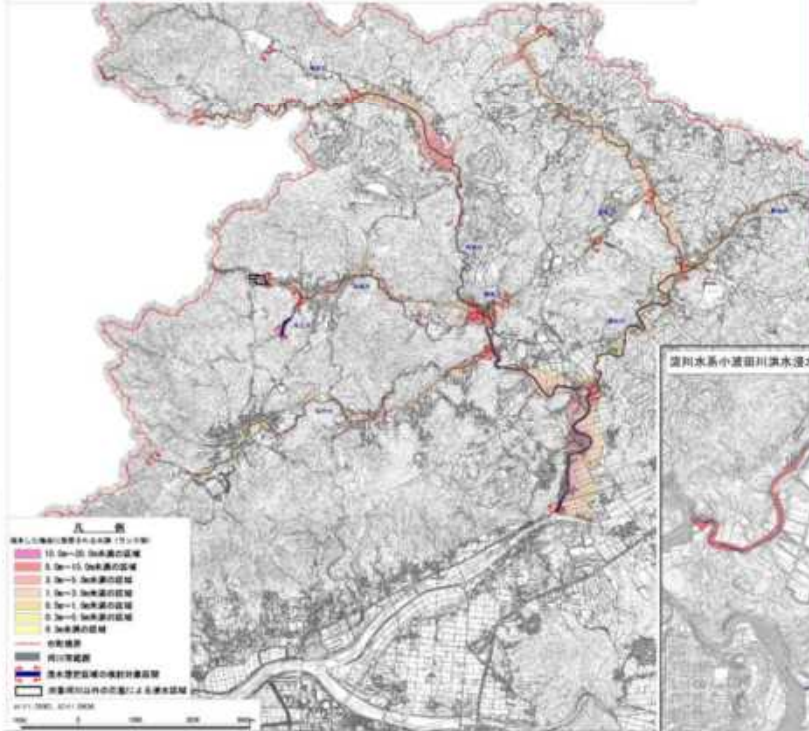
【令和4年度:三重県】

具体的な取組内容

河合川ほか93河川において、想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図を策定・公表を行い、管理河川において、水害リスク情報の空白域を解消した。



淀川水系河合川・鞆田川・野田川・湯舟川・払子川・黒滝川・丸柱川・米之川・滝谷川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



【洪水浸水想定区域図の策定・公表状況】

- 水位周知河川
  - ・H30.3 木津川・服部川・柘植川
- 水位周知河川以外
  - ・R2.4 矢谷川・前深瀬川(伊賀市)
  - ・R2.6 滝川・名張川(名張市)
  - ・R2.12 名張川(名張市)
  - ・R3.5 久米川(伊賀市)
  - ・**R4.4 河合川ほか93河川(伊賀市・名張市)**



# 名張市 事例紹介



# ソフト対策 三重県名張市における流域治水の取組(名張市立地適正化)

- 名張市では流域治水の取り組みとして、浸水リスクを踏まえた立地適正化計画の検討に着手。また、平行してマイ・タイムライン等避難体制の強化や、学校教育における河川災害の授業の拡大等、ソフト施策の充実も図っている。
- また、名張市の立地適正化計画作成のための委員会に防災の視点の委員として木津川上流河川事務所が参画。
- 国は、リスクマップの内容を名張市と調整していくとともに、名張川の引堤等の河川整備を進めることで、流域で甚大な被害が発生した昭和28年9月洪水の1.1倍規模の洪水に対して浸水被害を解消し、市のまちづくりを後押しする。

## 名張市立地適正化計画防災指針の原案

危険エリアを整理し、ハード・ソフトあらゆる対策により、まちづくりを検討



## ●名張市立地適正化計画(防災指針含む)策定スケジュール

R3 原案作成済

R5 素案作成予定※

R6 策定予定※

※素案、策定にあたっては、外部委員会(河川管理者を含む)を立ち上げ検討

## 被害の軽減のための対策(避難体制等の強化)

名張市では、河川管理者と共同で、ワークショップ開催した他、出前講座等を通じて、防災意識の啓発としてマイ防災マップ、マイ・タイムラインの普及を図っている。

<ワークショップ>



## 被害の軽減のための対策 (あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供) ～副読本「ふるさと学習「なばり学」による治水に関する学習～

名張市内の小学校では、名張市教育委員会が発行している『ふるさと学習「なばり学」』を活用し、地域に関する学習に取り組んでおり、名張川とダムというテーマで、治水に関する学習を実施。



# 伊賀市 事例紹介


## ○防災・情報アプリHazardonの配信を開始

課題対応 E

【令和4年度：伊賀市】

### 具体的な取組内容

地域（住民自治協議会や自主防災会）が、災害時だけでなく平常時から地域情報の発信を行うことで、地域内の情報伝達能力が高まることから、地域の防災力の強化につながることから、当アプリを導入しました。今年度、防災講話等を通して、地域に働きかけアプリの普及に努めました。

実施概要	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配布日時 「広報いが」令和4年5月1日号と同時回覧</li> <li>● 対象者 伊賀市全世帯（約41,000世帯）</li> </ul>	
感想等	
<p>防災・情報アプリHazardonの配信を開始し、地域防災力の強化推進に努めた。</p>	

# 奈良県 事例紹介

## ○淀川水系内に流れる中小河川の浸水想定区域図作成

課題対応 A

【令和4年度：奈良県】

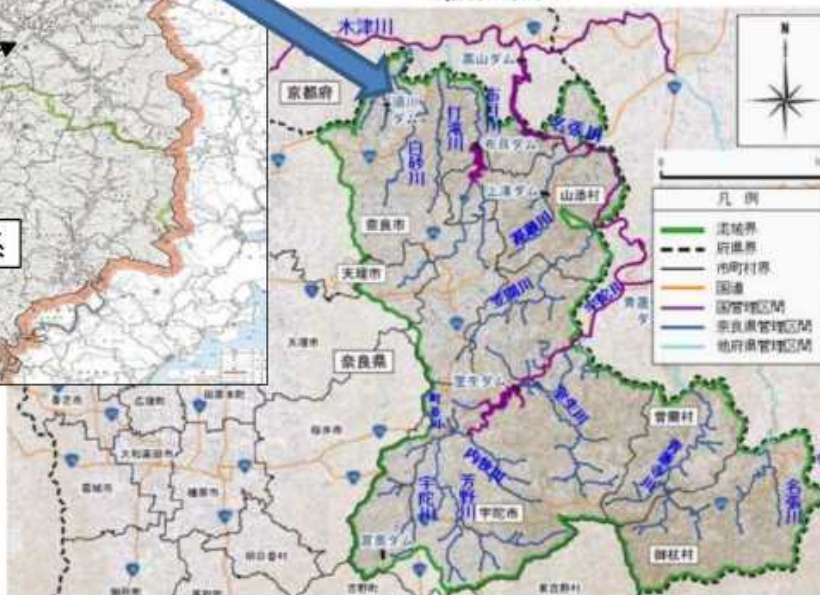
水防法改正（R3年）により、浸水想定区域図作成対象が水位周知河川以外のその他河川まで拡大されたことを受けて、奈良県管理のその他河川について想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図作成を行い、水害リスク空白域の解消を図る

## 位置図



奈良県内の淀川水系内を流れる中小河川は70河川あり(水位周知河川2河川は完成済み除く)、令和4年度末に作成予定です。

## &lt;拡大図&gt;



## 事業実施効果

その他河川の洪水浸水想定区域図作成については、令和4年度末に完了予定。

その情報を用いて市町村は今後、洪水ハザードマップ作成を進めていく。

## &lt;ハザードマップとの関係&gt;

## &lt;洪水浸水想定区域図※(国、都道府県)&gt;



(図はイメージ)

## &lt;洪水浸水想定区域の指定&gt;

想定しうる最大規模の降雨による浸水が想定される区域、その水深及び浸水継続時間等について、河川管理者が指定

## &lt;洪水ハザードマップ(市区町村)&gt;



(図はイメージ)

## &lt;洪水ハザードマップの作成・周知&gt;

市町村において、水害時の住民避難に活用するために、浸水想定区域や浸水深、避難場所・経路、地下街等、要配慮者施設等の情報を示した洪水ハザードマップの作成・周知を行う。

## ○整備計画に基づく河川改修の実施

【令和4年度：奈良県】

課題対応 P

計画堤防断面に対して高さや幅が不足している区間では、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、学識経験者や地方公共団体の長や住民の方々等の意見を踏まえて策定した「淀川水系（奈良県域）河川整備計画」に基づいて改修工事を実施している。

## 位置図



## 実施状況

- 工事名：町並川 バイパス推進工事
- 工期：R2.9.25～R3.10.22
- 工事延長：H=123m (Φ1,200中口径)



箇所①町並川（工事完了）



- 工事名：町並川 地下パイプ河川工事(推進工事)
- 工期：R3.10.8～R5.10.31
- 工事延長L=512m 推進工Φ1200mm(L=496m)

- 工事名：宇陀川 河床掘削・落差工工事 (完成箇所)
- 工事延長170m



箇所①町並川（工事中）



箇所②宇陀川（工事完了）

## 報告

今後も河川整備計画に基づいた、河川改修を着実に実施し、淀川水系の治水安全度の向上に努めていく。

# 宇陀市 事例紹介

○取組内容:大宇陀小学校を使った避難所開設・運営訓練

課題対応 G

【令和4年度:宇陀市】

### 具体的な取組内容

災害発生時の避難所開設を想定して、①避難所の受付と避難誘導訓練、②避難者エリア設定と資機材取扱訓練、③「大宇陀小学校区の危険を知る」と題して防災講話を行いました。

### 実施概要

●日時:令和4年11月12日(土)9時~12時

●参加者:宇陀市、防災サポーター  
大宇陀地域住民(まちづくり協議会代表者)

### ●実施概要と当日のスケジュール

1班15名程度、3班に分かれ、①避難所の受付と避難誘導訓練、②避難者エリア設定と資機材取扱訓練、③防災講話をローテーションし実施。

### 感想等

宇陀市では、避難所開設は市職員が行っており、台風のように通過すれば、避難所を閉鎖するような、一過性の災害への対応がほとんどである。避難が長期化した場合、避難所の運営には市民の協力が必要となるため、本訓練を通して、避難所運営に係る知識の一部を共有できたのではないかと考えます。  
今後も他地域にて実施する予定です。

### 実施状況



①避難所の受付と避難誘導訓練



③防災講話



②避難者エリア設定と資機材取扱訓練



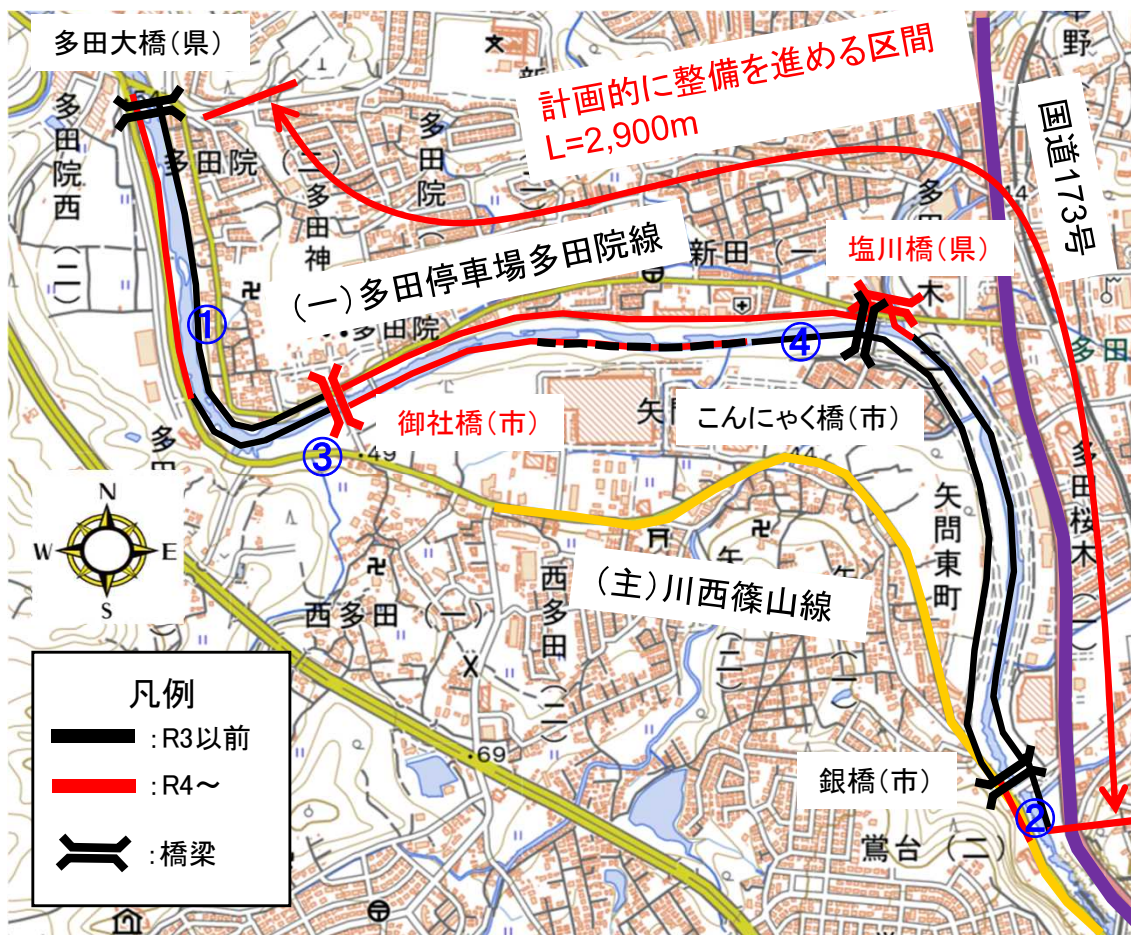


# 兵庫県 事例紹介

## 猪名川上流部（多田院地区）の河川改修の推進

- 多田院地区の治水安全度向上を図るため、河道掘削や橋梁改築、護岸整備等の河川改修を着実に推進。
- 多田院地区の河川改修進捗にあわせた一庫ダムの洪水調節機能強化（放流量拡大）により、ダム下流全体の治水安全度向上を図る。

### 事業進捗平面図



出典: 国土地理院ウェブサイト

### 現況写真

①完成区間(多田大橋付近)



②暫定完成区間(銀橋)



③残事業区間(御社橋)



④事業中区間(こんにやく橋上流側)



### 横断図(銀橋)

